

【風水害編】

1. 「自宅での待避」や「2階以上の垂直避難」の行動

(1) 自宅での待避

「大雨警報」又は、「暴風警報」が発令された場合

=安全確保のため、まずは、「屋内での待避」をお願いします。

大きな台風では、強風の影響で倒木や看板等が飛ばされることが想定されます。

また、短時間での局地的な大雨による道路冠水時など屋外に出ることによって危険を招くことがあります。

まずは、自宅などの**屋内で待避**してください。

屋内での退避に備えて、水・食料などを買い置きしておき、可能なかぎり2階以上へ移動しておきましょう。(自助)



(2) 自宅など2階以上の垂直避難

台風などに伴い大規模な災害が想定される場合

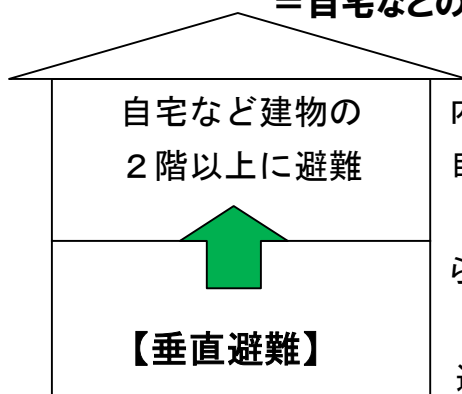
=自宅などの「2階以上に垂直避難」をお願いします。

大規模な浸水被害が想定される場合であっても、市内で土砂災害が発生することは、極めて低いことから自宅などの**2階以上への垂直避難**をお願いします。

平屋のお宅は、近所の建物に避難できるよう普段から協力関係を築いておきましょう。(共助)

万一、電気・水道などのライフラインが停止するなど、避難所の開設が必要となった場合は、避難所の安全が確保でき次第、開設します。

災害情報は、防災行政無線や安心安全メールなどで情報を発信しますので、状況のご確認をお願いします。



自宅の2階以上に避難する「垂直避難」は、多くの市民の皆さまが身の安全を確保するために、非常に重要な避難行動の一つの方法です。

国の専門部会でも「屋内での待避」、「垂直避難」を身の安全を守る方法の一つとしております。

春日部市地域防災計画でも、まずは、屋内での待避と垂直避難を安全確保の方法として定めております。

2. 台風・大雨等に備えた対策

(1) 台風に向けて！(強風対策)

- ①植木鉢、物干ざお、ごみ箱など強風で飛ばされやすい物は屋内に入れましょう。
- ②屋内に入れることができない犬小屋や自転車などはロープなどで固定しましょう。
- ③看板、トタンなどを補強しましょう。
- ④物が飛ばされ危険となるため、不要な外出は避けましょう。



(2) 大雨に向けて！(豪雨対策)

- ①床上浸水に備えて、大切な物品は2階へ上げましょう。
- ②1階の畳を素早く上げられるよう準備しておきましょう。
ただし、準備の余裕がないときは、すぐ自宅の2階に避難しましょう。
- ③浸水のおそれがある場所では、事前に土のうや止水板などを用意して、地域のみなさんと協力し応急対策を実施しましょう。



(3) 竜巻・突風から身を守ろう

大気が不安定な状態のときには、積乱雲が発達して、竜巻や突風が発生しやすくなります。テレビ・ラジオなどで「竜巻注意情報」が発表されたら、竜巻や突風に注意しましょう。

<竜巻が発生する特徴>

- ・雲の底から地上に伸びる「ろうと状」の雲を見た
- ・飛散物が筒状に舞い上がるのを見た
- ・気圧の変化で耳に異常を感じた など

<身を守る行動>

- ・1階の窓のない場所に移動する
- ・雨戸やシャッター、カーテンを閉める
- ・屋外では、頑丈な構造物の物陰に入って身を小さくするなど